



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 タカノ株式会社

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,464	10.7	146	1,433.2	186	85.0	103	92.8
27年3月期第2四半期	8,550	37.5	9	—	100	—	53	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 19百万円 (△84.7%) 27年3月期第2四半期 128百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	6.80	—
27年3月期第2四半期	3.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	32,594	26,550	81.5	1,747.16
27年3月期	34,345	26,652	77.6	1,753.87

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 26,550百万円 27年3月期 26,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	15.9	970	245.9	1,100	142.5	760	124.2	50.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	15,721,000 株	27年3月期	15,721,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	524,773 株	27年3月期	524,734 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	15,196,237 株	27年3月期2Q	15,196,266 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）におけるわが国経済は、政府や日銀の経済・金融政策を背景に企業収益や雇用・所得環境は改善が進んでおり、また、企業の設備投資意欲も総じて持ち直しの動きがみられるなど全体として緩やかな回復基調で推移しているものの、中国をはじめとするアジア新興国等の景気下振れによる悪影響も懸念されるなど、引き続き、予断を許さない環境が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは新中期経営計画「Grow up 63」の達成に向け、計画の最終年度にあたる当期は、計画の基本方針である「中期的な事業の成長を確保するため、新しい分野に対する『攻め』を徹底して行う」を推進すべく、施策を実行してまいりました。

具体的には、医療関連分野向け新製品の開発に注力するとともに、生産性向上および合理化推進のための活動を引き続き、推進してまいりました。

その結果、主に検査計測機器事業の販売の拡大により、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,464百万円で、前年同四半期比913百万円（10.7%）の増収となりました。

利益面につきましては、資材価格の上昇、検査計測装置販売価格の低下等の影響はあったものの、積極的な合理化、販売拡大による粗利益額の増加等により、営業利益146百万円（前年同四半期比137百万円、1,433.2%の増益）、経常利益186百万円（前年同四半期比85百万円、85.0%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益103百万円（前年同四半期比49百万円、92.8%の増益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	3,409	3,737	9.6%	△34	△46	－%
検査計測機器	3,051	3,537	15.9%	△63	74	－%
産業機器	1,016	1,055	3.7%	91	86	△5.7%
エクステリア	481	460	△4.3%	△21	△22	－%
機械・工具	591	673	13.9%	40	59	49.5%
報告セグメント計	8,550	9,464	10.7%	12	152	1,134.0%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△2	△5	－%
合計	8,550	9,464	10.7%	9	146	1,433.2%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、第1四半期に引き続き、生産性向上のための工程改革等に積極的に取り組むとともに、中国製造委託体制および調達体制の拡充等グローバル化に対応した施策を進めてまいりました。また、立位手術術者体位保持機器等、医療・診療空間で使用される新製品の販売促進活動に取り組んでまいりました。

この結果、オフィス家具需要が底堅く推移したこと等により、売上高は3,737百万円で前第2四半期連結累計期間比328百万円、9.6%の増収となりました。

利益面では、積極的なコストダウンに努めたものの、市場競争激化にともなう販売単価の低下、資材価格の上昇等の影響等により、セグメント損失は46百万円（前年同四半期はセグメント損失34百万円）と損失幅が拡大いたしました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、第1四半期に引き続き、中国市場向け液晶検査装置および高精細中小型液晶検査装置ならびに燃料電池部材等の新用途市場向け検査装置の販売活動に注力するとともに、製品の標準化の推進と生産体制の拡充に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は中国顧客向け検査装置の大口物件にかかる売上高が計上でき、売上高は3,537百万円で前第2四半期連結累計期間比485百万円、15.9%の増収となりました。また、利益面では販売の拡大にともなう粗利益額の増加等により、セグメント利益は74百万円（前年同四半期はセグメント損失63百万円）と黒字転換をはかることができました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、第1四半期に引き続き、中国をはじめとするアジア地域での製造委託体制の拡充、海外市場への積極的な営業活動および医療関連分野向け電磁アクチュエータの販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,055百万円で前第2四半期連結累計期間比38百万円、3.7%の増収となりました。一方、利益面ではセグメント利益は86百万円で、前第2四半期連結累計期間比5百万円、5.7%の減益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向け、広報・宣伝活動の拡充および工場隣接の展示場での販売促進活動、物件受注体制・販売施工体制のさらなる拡充に取り組んでまいりました。

しかしながら、売上高は460百万円で前第2四半期連結累計期間比20百万円、4.3%の減収となり、セグメント損失は22百万円（前年同四半期はセグメント損失21百万円）となりました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、機械等の販売促進活動に努めた結果、売上高は673百万円で、前第2四半期連結累計期間比82百万円、13.9%の増収となりました。利益面では、販売の拡大にともなう粗利益額の拡大により、セグメント利益は59百万円で、前第2四半期連結累計期間比19百万円、49.5%の増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は32,594百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,751百万円減少いたしました。純資産合計は26,550百万円となり、前連結会計年度末と比較して101百万円減少いたしました。この結果、自己資本比率は81.5%と前連結会計年度末と比較し、3.9ポイント増加いたしました。

資産の部については、有価証券が448百万円、仕掛品が689百万円増加する一方、現金及び預金が1,836百万円、受取手形及び売掛金が1,147百万円減少したこと等により、流動資産合計は1,892百万円減少し19,767百万円となりました。固定資産合計は主に生産の合理化を目指した機械装置及び運搬具の増加、新製品の製造にかかる金型の投資等により有形固定資産合計が197百万円増加したこと等により、141百万円増加し、12,826百万円となりました。

負債の部については、前連結会計年度末に対して、主に支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が212百万円減少したこと、検査計測装置の大口案件の売上高計上にともない、精算を行った結果、前受金が1,050百万円減少したこと等により、負債合計は1,649百万円減少し、6,043百万円となりました。

純資産の部については、主に当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加の一方、剰余金の配当の支払いにともない利益剰余金が減少したこと等により、利益剰余金は18百万円減少しました。また、株式相場等の若干の低迷にともない、その他有価証券評価差額金が97百万円減少したこと等により純資産合計は101百万円減少し、26,550百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績につきましては、現時点で、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,058,419	8,222,254
受取手形及び売掛金	6,443,833	5,296,158
有価証券	251,205	699,343
商品及び製品	487,069	605,112
仕掛品	2,731,108	3,420,328
原材料及び貯蔵品	1,056,456	804,237
その他	634,043	722,017
貸倒引当金	△1,942	△1,908
流動資産合計	21,660,193	19,767,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,824,775	1,841,537
機械装置及び運搬具(純額)	471,635	505,018
土地	4,214,993	4,230,231
その他(純額)	382,284	514,488
有形固定資産合計	6,893,688	7,091,275
無形固定資産	307,833	296,178
投資その他の資産		
投資有価証券	4,468,080	4,075,155
その他	1,021,381	1,369,928
貸倒引当金	△5,731	△5,831
投資その他の資産合計	5,483,731	5,439,252
固定資産合計	12,685,253	12,826,706
資産合計	34,345,446	32,594,252

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,883,869	1,773,204
電子記録債務	1,627,758	1,526,406
未払法人税等	38,029	53,558
前受金	1,814,889	764,233
賞与引当金	306,522	251,344
役員賞与引当金	11,300	-
その他	1,088,741	824,000
流動負債合計	6,771,111	5,192,749
固定負債		
長期借入金	167,487	117,485
役員退職慰労引当金	175,080	182,400
退職給付に係る負債	440,530	413,335
その他	138,961	137,989
固定負債合計	922,058	851,210
負債合計	7,693,169	6,043,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	21,981,533	21,963,362
自己株式	△272,421	△272,451
株主資本合計	26,080,429	26,062,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	501,446	403,460
為替換算調整勘定	75,288	86,379
退職給付に係る調整累計額	△4,887	△1,775
その他の包括利益累計額合計	571,847	488,063
純資産合計	26,652,277	26,550,292
負債純資産合計	34,345,446	32,594,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,550,652	9,464,392
売上原価	7,068,398	7,808,067
売上総利益	1,482,254	1,656,324
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	365,370	368,451
賞与引当金繰入額	57,264	65,974
退職給付費用	32,569	30,926
貸倒引当金繰入額	25	△34
役員退職慰労引当金繰入額	7,360	7,320
その他	1,010,097	1,037,004
販売費及び一般管理費合計	1,472,687	1,509,643
営業利益	9,566	146,681
営業外収益		
受取利息	25,044	22,121
受取配当金	13,641	15,748
為替差益	46,366	-
助成金収入	242	-
その他	13,344	11,977
営業外収益合計	98,639	49,847
営業外費用		
支払利息	1,746	1,121
為替差損	-	7,867
固定資産除売却損	4,485	275
その他	994	458
営業外費用合計	7,225	9,723
経常利益	100,981	186,805
税金等調整前四半期純利益	100,981	186,805
法人税、住民税及び事業税	28,315	51,705
法人税等調整額	19,044	31,700
法人税等合計	47,359	83,406
四半期純利益	53,621	103,399
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,621	103,399

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	53,621	103,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,942	△97,986
為替換算調整勘定	△13,110	11,090
退職給付に係る調整額	2,557	3,111
その他の包括利益合計	74,389	△83,784
四半期包括利益	128,010	19,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,010	19,615
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100,981	186,805
減価償却費	239,117	274,100
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	171	65
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49,831	△55,246
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△500	△11,300
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,774	△27,283
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,330	7,320
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△125,697	-
受取利息及び受取配当金	△38,686	△37,870
支払利息	1,746	1,121
売上債権の増減額 (△は増加)	1,912,670	1,152,837
たな卸資産の増減額 (△は増加)	326,253	△553,304
仕入債務の増減額 (△は減少)	△378,566	△214,887
前受金の増減額 (△は減少)	△868,143	△1,051,233
その他	△185,520	△216,895
小計	925,890	△545,769
利息及び配当金の受取額	39,874	37,505
利息の支払額	△1,723	△1,201
法人税等の支払額	△20,977	△40,113
法人税等の還付額	2,184	620
営業活動によるキャッシュ・フロー	945,247	△548,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	△514,000
定期預金の払戻による収入	488,000	194,000
有形固定資産の取得による支出	△385,571	△507,618
有形固定資産の売却による収入	12,604	2,447
投資有価証券の取得による支出	△250,547	△200,394
投資有価証券の売却及び償還による収入	250,000	-
その他	△117,246	△30,818
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,761	△1,056,384
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△55,002	△60,002
自己株式の取得による支出	-	△29
リース債務の返済による支出	△22,476	△23,200
配当金の支払額	△121,570	△121,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△199,048	△204,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,561	3,980
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	664,999	△1,806,164
現金及び現金同等物の期首残高	8,972,478	9,468,419
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,637,477	7,662,254

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	3,409,098	3,051,585	1,016,912	481,569	591,487	8,550,652
セグメント間の内部売上高又 は振替高	20,056	7,639	3	1,171	231,419	260,290
計	3,429,154	3,059,224	1,016,915	482,740	822,907	8,810,943
セグメント利益又は損失(△)	△34,306	△63,252	91,372	△21,516	40,026	12,323

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	12,323
セグメント間取引消去	△2,756
四半期連結損益計算書の営業利益	9,566

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	3,737,922	3,537,032	1,055,015	460,908	673,512	9,464,392
セグメント間の内部売上高又 は振替高	15,288	5,111	14,388	6,350	304,582	345,720
計	3,753,211	3,542,143	1,069,403	467,258	978,095	9,810,112
セグメント利益又は損失(△)	△46,373	74,918	86,204	△22,524	59,846	152,071

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	152,071
セグメント間取引消去	△5,390
四半期連結損益計算書の営業利益	146,681

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。